

「食育園芸の基礎講座」—SDGs 園芸を通じて食育の基礎を学ぶ—

特任講師：坂口則夫（育苗家・造園家）

■講座の内容と目的

- ①園芸で何ができるか 食と農の過去・現在・未来を考える
- ②大人の責任 私たちは子供たち・孫たちにどんな社会（地域・地球）を残せるかを考える
- ③食育園芸 日本版エディブルスクールヤード実践のための課題研究

■カリキュラム構成の概要（約20回講座）

第1章 「園芸家の一年」

タネ播きから始まり、タネ取りで終わる園芸の醍醐味
40代から始まった園芸人生 植物人生 世界を巡る
原種調査と植物採取の旅
庭づくり・風景づくりの醍醐味 苔植物との新たな出会い
生態学、民族植物学の教え
園芸と文学、哲学、科学、芸術の総合文化への道

第2章 「食と農の歴史と未来」

食べることの哲学 食べることはどこまでか
食の文化史
農耕の起源と歴史、農業技術の発展と現代的課題
食を取り巻く課題研究

第3章 「私たちは子供たちに何を残せるか —地域・地球」

私たちが生きてきた時代を考える —近代という時代
百姓という生き方の過去・現在・未来
スモール、スローという暮らしの文化遺産の発見と継承

第4章 「タネの話」をしよう！

園芸・農業の基本の基本 タネの過去・現在・未来
タネを制する者は世界を制す
タネ取り倶楽部 種取り種まき種遺し

第5章 学校菜園計画（エディブルスクールヤード）のすすめ

エディブルスクールヤードって何？ 学校菜園食育の目的
学校応援団「エディブルスクールヤード信州」の設立に向けて